



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.3.2

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**倉橋溜池土地改良区**の皆様が見学に来られました。

当事務所から流水調整課長他1名の職員が対応し、紀の川大堰の概要説明、館内の施設見学案内をいたしました。

気温はそれほど低くありませんでしたが、春先の強い風が吹く中向かった魚道では、紀の川大堰の橋脚のたくましさや大きさを、間近で感じて頂きました。

防災や堰の管理に関するたくさんの疑問・質問をいただき、「勉強になりました」と喜んでいただけました。

団体見学概要

日 時： 平成30年3月1日(木)
10:30 ~ 11:40

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：13名

団体名： 倉橋溜池土地改良区(奈良県)

1. 紀の川大堰概要説明

流水調整課長がスライドを用いて、紀の川の概要や、紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

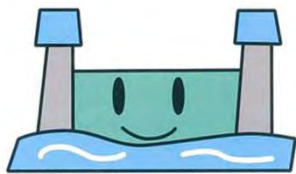
奈良県からお越しになられていましたので、吉野川分水についてのお話しもさせて頂き、興味深く聞かれていました。



2.館内の見学



2階操作室内をガラス越しに見学。



3階展望デッキへの扉を開くと、吹き飛ばされそうなくらいの強い風が吹いていました。

実際に紀の川大堰を見ながら、皆様からたくさん疑問質問をいただきました。

3.館外の魚道見学



きらめき館から、徒歩3分の魚道観察室に向かいました。

強い春風で水面が濁り激しく揺れて、悠々と泳いでいるはずの魚たちの姿が見えませんでした。



魚道観察室で、一部可動式になっている階段式魚道の説明を聞いている様子。



階段式魚道やデニバチ魚道を上から見ている様子。

疑問・質問

Q1.主ゲートの高さは、どれくらいですか？

A1.高さは7.1mです。普段は水の中に降ろしている状態なので上部分3～4mくらいだけ見えています。

Q2.ゲート操作中に停電になったらどうなるんですか？

A1.すぐに管理所に備えられている予備発電機が作動し、ゲート操作に問題はありませぬ。予備発電施設は定期的に点検し、いざというときに備えています。